



田原の杜

北九州市立田原中学校

学校通信 4月号 No.1

発行責任者 校長 寺田 訓康

TEL 472-3321

令和6年4月15日発行

■ 令和6年度 今年は「まず動いてみませんか！」

今年度で田原中学校3年目になります、校長の寺田訓康（てらだ のりやす）といいます。どうぞよろしくお願いします。

田原中の校区は、古墳やお城の跡といった歴史的に貴重な遺跡があり、日本の歴史にも大きく影響を与えた出来事の舞台や歴史上の人物とも深いつながりがあります。また、自然も身近にあり、この季節はすぐ近くでウグイスのさえずりも聞くことができ、夏にはホテルが飛び交う地域です。是非皆さんに、この地域のすばらしさを感じてもらい、この地域をもっと好きになってもらいたいと思っています。

この地域を、皆さん自身をもっと好きになってもらいたいと思い、入学式で次のような話をしました。

「皆さんは今日の日（入学式）をどんな気持ちで迎えましたか。部活動や新しい仲間との生活を楽しみに思う気持ちと、友達や勉強のことなどで心配な気持ちが混じっていたのではないのでしょうか。毎年、新入生の皆さんに伝えていますが、校長先生も中学に進学するときは、心配なことがたくさんありました。でも、中学校生活が大変楽しく、思い出に残ったので中学校の先生になりたいと思いました。皆さんたちにも思い出に残る中学校生活にしてもらいたいと思っています。

そこで、思い出に残る中学校生活にするために、全校生徒であることに取り組んでももらいたいと先輩たちに始業式でお願いしました。それは「まず行動してみませんか」という提案です。笑顔でいると、体にも心にも良い効果があるそうです。しかし、いつも楽しいことがあるわけではありません。でも、楽しいことがなくても、無理にでも笑顔を作っていると、笑っている時と同じ効果があるそうです。そして、自分だけでなく周りの友達も明るい気持ちにさせてくれます。また、「やる気が起きないので、あとから勉強しよう」と思ったことはありませんか。その時にやる気がなくても、まず机についてみませんか。はじめはきつけれど、徐々に意欲がわいてくることがあります。その時に、背筋を伸ばした良い姿勢にすると意欲がわいてきます。心と体は深くつながっています。体を動かすことによって心も温まります。「もし失敗したらどうしよう」とか「失敗したら恥ずかしいな」と感じる人もいるかもしれませんが。でも田原中には、失敗してもそれを責めたり、ましてや笑うような雰囲気はありません。中学校の三年間は失敗をしてそこから学ぶ時期です。是非皆さんの学年もお互いの失敗を受け入れる雰囲気を作ってください。失敗するには行動しないといけません。今年は田原中の生徒524名でまず行動してみませんか。そして、新しい田原中の歴史を皆さんと一緒に作っていきましょう。」

対面式で、生徒会の皆さんや部活動のキャプテンが「挑戦しよう！」と言ってくれました。先生と生徒が同じ方向を向いて頑張る田原中は素晴らしい学校だと思います。

■ 178名の新しい仲間が参加しました！

4月10日（水）、春らしい暖かな日差しの下、第39回入学式が実施されました。11日の対面式で、生徒会長が今の気持ちはどうですかと尋ねると、中学校生活に期待と不安が入り混じっていると答えた人が結構いました。「私もそうだった」という2、3年生もいるのではないのでしょうか？そんな1年生に安心感を与えてくれるのは、2、3年生の皆さんです。先輩が明るく、自分に自信をもって活動している姿は新入生にも伝わります。



入学式の看板の前で記念撮影！

去年は2件福原賞をいただき、地域の方から感謝されました。3学年そろった皆さんの姿を見ていると、今年の田原中は、学校だけでなく、地域全体にも良い影響を与える地域の核となるような気がします。524人で同じ方向を向いて今年も頑張りましょう！

■ これからの予定です。（変更することもあります。）

4月15日（月）代議・専門委員会（1年生は初めて）
前期時間割試行

17日（水）全国学力学習状況調査生徒質問紙（3年）
歯科検診

18日（木）全国学力学習状況調査（3年）

19日（金）子ども読書の日

※今年はポップを作ります。「そねっと」に作品を掲示させてもらうようにお願いします。みんなが読んでみたいと感じるポップを作成しましょう！

22日（月）部活動発足会

23日（火）尿検査（1回目）

24日（水）自転車通学者集会

26日（金）1年ふれあい合宿説明会

30日（火）心臓検診（1年生と対象者）

5月1日（水）～2日（木）中間考査

※1年生は初めての定期考査です。しっかり頑張りましょう！

7日（火）代議・専門委員会

8日（水）内科検診（3年）

9日（木）尿検査（2回目）

10日（金）ふれあい合宿事前指導（1年）

社会見学（3年）福岡方面

13日（月）～15日（水）

ふれあい合宿（1年生）玄海青年の家

16日（木）1年生疲労回復日

（裏面に続きます。）

■熊本地震から8年経ちます。



たくさんのお墓が倒れていました。



1階がつぶれたビル（熊本市内）



水前寺公園近くの灯籠が倒れていました。

4月16日で、熊本地震発生から8年がたちます。初めの地震（余震）は、4月14日の夜10時ごろ、本震は4月16日の1時30分ごろに発生しました。北九州市でも揺れたので覚えている人もいるかもしれませんが。上の写真は、その年の5月の熊本市内の様子です。家族がいたので片付けに行ったときに撮影しました。出かけるときも高速道路が渋滞し、車に乗っていても地震で揺れて、怖かったことを覚えています。

私たちにできることは、もし地震が起きたときのために

- ・環境を整えておくこと
(地震で倒れそうなものはありませんか？先生の家族の家は冷蔵庫が倒れていました。)
- ・避難方法を確認しておくこと
(深夜であれば、着替えや靴は近くにありますか？避

難する場所を家族と確認していますか？)

・余裕があれば周りのお年寄りや小さな子に手を貸してあげる気持ちを持つこと
等があげられます。

日頃から「もしも」を想定しておきましょう。

この写真を見る度に、「これからも私自身が、忘れないようにしよう」と感じています。

■皆さんは藤田博士を知っていますか？

北九州市科学館（スペースラボ）に、竜巻を発生する装置があります。これは、北九州市出身の藤田哲也先生の功績を語り継ぐ意味があります。藤田先生は、アメリカで竜巻の研究を行い、竜巻の原理や特徴を見つけ出し、多くの人の安全に寄与しました。そして、竜巻の強さによって、F0～F12

に分けましたが、Fというのは藤田博士から来ています。

藤田博士は、中曽根に生まれ、貫山や曾根干潟で遊んでいたそうです。同じ環境で育っている皆さんの中から藤田2世と呼ばれる人が出てくるかもしれませんね。藤田先生の生涯を描いた本をいただきましたので興味がある人は校長室に来てください。

